

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に際して

糖尿病は、特に血糖コントロールが良くない場合、一般的に感染症が重症化しやすい疾患です。

感染した場合には、出来るだけ早期に診断をつけて適切な治療を受けることが大切です。

新型コロナウイルスを含む感染症は、医療機関で診察や検査を受けることで診断されますが、肺炎などの症状が見られればPCR検査等の結果にかかわらず、必要な治療が開始されます。

発熱や息苦しさなどの症状が出た場合には、まずかかりつけの医療機関に連絡してどのようにすれば良いかご相談ください。

コロナ禍においても、人混みを避けての運動や家の中で体を動かすこと、一定の間隔でかかりつけの医療機関を受診して自分の血糖コントロールや体の状態を確認することが重要です。

患者さんと医師・医療従事者がよく連携を取って、この困難な時期を乗り切りましょう。

(一般社団法人日本糖尿病学会・公益社団法人日本糖尿病協会 HPより)

「5つの場面」に気をつけよう

1

飲酒を伴う
懇親会

2

大人数や長時間の
飲食

3

マスクなしでの
会話

4

狭い空間での
共同生活

5

居場所の
切り替わり

換気を良くして
三密を避けよう!



いつでもマスク
手洗い・消毒忘れずに!